

平成26年度における各協力団体の食育への取組状況

1 青森県小学校長会

活 動 内 容	
	<p>県下10の地区における全般的な取組</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 学校における「食育の全体計画」の策定に努めている。 2 教科、総合的な学習の時間、特別活動(学校給食の時間)、など教育活動全体を通して、食育の推進に努めている。 3 専門的知識を持つ栄養教諭、学校栄養職員をゲストティーチャーに迎えた授業を行い食の指導に活かしている。 4 学校保健委員会の活動に活かし、児童のみならず、教職員、保護者、地域の方々とともに、食について考える機会の設定に努めている。 5 「いのちはぐくむあおもりの農林水産業」を社会科の副読本として活用し、教科と食育の内容の充実に努めている。
今後重点的に取り組みたい事項の例	<ol style="list-style-type: none"> 1 食育の性格上、家庭との連携は欠かせない。 2 「生産」、「調理」、「食品が作られている過程の工場見学」、「栽培」などの体験活動の重視、を掲げている地区がある。 3 栄養教諭、学校栄養職員をゲストティーチャーに迎えた出前授業を、一部の学年ではなく、全学年での実施を掲げている地区がある。
取組の具体的な手法や特徴的なことの例	<ol style="list-style-type: none"> 1 栄養士による食育に関する校内テレビ放送に取り組んでいる学校がある。(学期一回程度であるが。) 2 アレルギーのある児童の誤食防止の策として、当該食材が用いられる日には、校内放送を通して複数のチェックが行われるようにしている学校がある。 3 全小学校において、栄養教諭を活用した授業を実施している地区がある。 4 PTAが中心となって、栄養教諭や学校栄養職員をゲストティーチャーに迎え、保護者向けの食育に取り組んでいる地区がある。 5 青森中央短期大学の食育サポーターの事業の活用が良かった、旨の情報が寄せられている。 6 参観日の機会を利用して栄養教諭や学校栄養職員をゲストティーチャーに迎えて講演をしてもらうことを計画している地区がある。 7 学校栄養職員の活用が重視され、かなりの学校で、学校保健委員会や学級活動(保健・家庭)での活用が見られている地区がある。

2 青森県中学校長会

活 動 内 容
<ol style="list-style-type: none"> 1 「家庭科」「保健体育」の授業で、学習のねらいを達成できるようにしている。 2 生徒会の保健委員会の活動を効果的に展開し、保健委員だけでなく、全校生徒に健康と食の関係を理解させている。 3 学校と家庭が連携し、家庭において日本の伝統的な食文化や郷土食のよさを再認識できるよう努めている。 4 学校給食等をとおして、食の大切さを学ばせている。 (学校給食センターからの「月ごとのメニュー」「給食だより」「お知らせ」の活用など)

3 青森県高等学校長協会

活 動 内 容	
<p>これまでの取組を継続させるとともに、さらなる充実に努めている。高等学校においては、学校の教育活動全体を通して行われるものであるが、特に男女必修科目「家庭科」においては、以下のとおり、生活全体の中での食生活の営みという視点を持って指導に努めている。</p> <p>①生涯を見通した食生活を営む力を育むため、ライフステージごとの食生活について考える機会を作っている。</p> <p>②栄養、食品、調理及び食品衛生などについて科学的に理解させる実験・実習を用いた体験的な授業を行っている。</p> <p>③安全と環境に配慮し主体的に食生活を営む力を身に付けさせるようにしている。</p> <p>④「自分で食事を作る」「お弁当の日」など、食材を意識させる機会を設けている。</p> <p>⑤食生活上の課題を把握し、それらを解決するために学校家庭クラブ活用やホームプロジェクトを利用し、食育に関する実践的活動に積極的に関わるよう指導している。</p> <p>食に関する専門科目においては、以下のとおり我が国の食を取り巻く環境の変化や食生活の多様化、国民の健康増進の重要性を考えた、食育の推進を図っている。</p> <p>①食生活が健康に影響することについて、資料や外部講師を活用し、国民健康・栄養調査、朝食の欠食、栄養の偏り、食習慣の乱れ、脂質の過剰摂取、野菜の摂取不足などの実態や生活習慣病が増加していることなどの、具体的に考える機会を通じて、食生活の改善に主体的に取り組む力を身に付けさせるよう授業を行っている。</p> <p>②地域の実態を把握し、保育所や幼稚園等、小学校・中学校、特別支援学校、地域における社会教育団体やNPO(特定非営利活動法人)、企業や事業所などの各種団体等と積極的に連携して活動する機会を設けている。</p>	

4 青森県特別支援学校校長会

内 容	
<p>青森県特別支援学校校長会としての事業等は行っていないが、会員それぞれが各校の学校経営において食に関する指導を進めるよう努め、次のように、児童生徒の障害等に応じた食に関する取組を行っている。(各校の主な取組を集約)</p>	
<p>授業における取組 研究会としての取組</p>	<p>1 児童生徒を対象とした栄養教諭による授業、栄養士や外部講師による講話等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養と食事のバランス ・生活習慣病について ・現場実習中のバランス良い食べ方、昼食選び ・食育カルタを用いた学習 ・減塩でおいしい健康生活～望ましい生活習慣～ <p>2 保護者を対象とした講習会等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養バランスを考えた弁当作り ・給食試食会 ・ムリをしない減塩のヒント ・朝食の大切さ ・給食レシピの提供や携帯食調理法の指導 ・生活習慣病予防のための食生活
<p>イベント的取組</p>	<p>1 食品を選択する力や食事のマナー・社会性等の育成、給食や食事をする事への興味・関心の高まりや心身の健康等を期待して取り組む活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バイキング給食 ・リクエスト給食 ・他県の名物料理の給食 ・個に応じた特別給食 ・地域との給食交流 ・校内献立コンクール ・テーブルマナー教室 <p>2 地場産物への関心や食文化の伝承などに係る内容を期待して取り組む活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・郷土料理教室 ・郷土料理教室 ・うどん打ち体験 ・給食献立への地産地消情報の掲載 ・県産食材の活用

	・総合的な学習の時間で地元の特産物を調査
その他の取組	<ol style="list-style-type: none"> 1 学校菜園での野菜栽培と給食への活用、調理実習の実施 2 掲示板の活用、「給食だより」「食育だより」「保健だより」「学級通信」等の発行、校内放送やラジオ番組による献立等の紹介(広く周知を図るための活動) 3 学校給食献立コンクール等への参加、「給食がんばり賞」の取組 4 寄宿舍と連携した取組 <ul style="list-style-type: none"> ・舎食、外食経験等による食の知識等の向上 ・食に関する学習会の実施(食物の働き、おやつを取り方) ・生活体験(調理体験)での献立作成アドバイス 5 地域との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・もちつき会の開催 ・給食センターとの連携

5 青森県学校保健会

活 動 内 容	
1	健やか青森っ子プラン「健やか青森っ子生活習慣病防止対策」の実施
2	「青森県学校保健・安全・給食研究大会」の開催 ○期日:平成26年11月12日(水) ○会場:鯉ヶ沢町舞戸小学校
3	学校保健関係団体が行う健康教育に対する支援
取組の具体的手法や特徴的なこと	県教育委員会、郡市学校保健会及び学校保健関係団体等と連携し、幼児、児童生徒の心身の健康の保持増進と健康課題を解決するため、健康教育としての食育を推進。
今後取り組みたい事項	これまで同様、健康教育の中で総合的に取り組むとともに、学校保健関係団体が行う食育に関して積極的に支援する。

6 青森県PTA連合会

事業名	食育活動助成事業
期 日	平成26年6月～平成27年3月
連 携 団 体	県内各所
活動内容・参加者等	PTAが行う食育活動に対して、(公財)青森県学校給食会から経費の助成を受け、親子料理教室やファミリー料理教室を実施している。 参加者は、PTA会員及び児童生徒である。
取組の具体的手法や特徴的なこと	(公財)青森県学校給食会と連携した事業の推進

7 公益財団法人 青森県学校給食会

活 動 内 容	
1	<p>学校給食に「生きた教材」として、本県で生産された農畜産物及び水産物を年間を通して安定的に供給できるよう、県農林水産部、農協、漁協等の協力、支援をいただき、地場産品の商品の開発・加工に取り組んでいる。</p> <p>平成26年度の県産冷凍カット野菜は、引き続き、「ほうれん草」、「小松菜」等の加工を行い、供給を行った。</p> <p>また、県産水産物の開発加工品は、「イカ」、「イワシ」、「サケ」の開発に引き続き、「トビウオ」の加工品の開発を行っているほか、新たに畜産加工品として「青森シャモロック」の加工品の開発を行っている。</p> <p>更には、「味感で育む『だし活』事業」における「だし商品」の開発に参加し、県内メーカーの協力をいただき、青森県産食材を使用した学校給食向け「だしパック」の商品開発を行っている。</p>

<p>2 学校給食用小麦粉パンについては、昨年度から主原料を県産小麦粉ネバリゴシ20%から県産小麦粉ゆきちから50%とし、供給を行っている。</p> <p>また、平成26年10月より新たな多様化パンとして、地場産物の消費拡大の観点から県産雪にんじんペーストを25%混入し、かつ乳アレルギーに対応した「雪にんじんパン」の供給を開始している。</p> <p>3 学校給食用米粉パンについては、県産小麦粉ゆきちからと米粉を主原料とした県産品100%の米粉パンの供給を行っている。</p> <p>4 学校給食用米穀の需要拡大の取組みとして、県内における米飯給食実施平均回数が週3.05回(平成25年度)と全国平均の週3.30回(平成24年度)を下回っていることから全農あおもりからの要請により実施回数週4回以下の市部の教育委員会へ働きかけを行っている。</p> <p>5 学校給食に関する食育活動の一環として、フードモデル(農水産物36種類)を指導教材として作成し、学校・食育関係団体等に貸出を行っている。</p> <p>6 子どもたちが青森県で生産、漁獲される主要農水産物について理解を深めるようわかりやすく解説した「青森県産農林水産物(地産地消)カレンダー」を青森県農林水産部、青森県教育委員会の協力を得て作成し、青森県内学校給食実施校の全学級に配付した。</p> <p>7 青森県PTA連合会と連携して、県内の郡市連合PTA及び単位PTA活動の「食育推進事業」に対して、経費の一部を予算の範囲内で助成する事業を行っている。</p> <p>8 地場産品を活用した食に関する指導の充実を図るため、青森県学校給食献立コンクールを青森県教育委員会等と共催で実施し、食育推進の支援を行った。</p> <p>また、コンクール作品が今後の学校給食の献立として活用されるように商品の開発を行い、平成26年8月より供給を開始している。</p>	
取組の具体的な手法や特徴的なこと	<p>青森県PTA連合会、青森県学校給食センター連絡協議会及び青森県学校栄養士協議会との連携を図り、食育の普及啓発を効果的に行いたい。</p> <p>また、生産者団体等の協力を得て、地産地消の商品開発に努めたい。</p>

8 青森県学校給食センター連絡協議会

活 動 内 容	
<p>学校給食センターの運営を円滑に推進するために、食育及び地産地消に関する研修会等を開催し、食育事業に取り組んできた。</p>	
取組の具体的な手法や特徴的なこと	<p>学校給食関係団体と連携して、食育事業を支援していきたい。</p>

9 青森県養護教員会

活 動 内 容	
<p>1 会員各自が、勤務校において、地域・家庭・関係機関と連携をとりながら、食育に関する内容に取り組んでいる。</p> <p>【実践例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 栄養教諭や学校栄養教員と協力して学級における「食」に関する指導を実施 ○ 地域の食材を献立に取り入れ給食指導の場面で紹介 ○ 学校保健委員会で「食」について取り上げ、健康な体づくりについて地域や家庭と考える場を設定 ○ 生徒に栄養バランスを考えたお弁当を絵に描かせ、文化祭で発表 ○ 食物アレルギーについて校内の職員を対象にした研修の実施 ○ 歯・口の健康に関連した「食」についての指導の実施 ○ 参観日に栄養教諭を招き保護者に「食」に関する講話や情報交換を企画し実施 	

など

- 2 県または各郡市において、研修会や情報交換の場で、児童生徒の健康課題の改善のために、「食育」に関する実践の紹介や研修を行い、資質向上を図っている。

【実践例】

- 高校生に対して食生活を含む生活習慣に関して振り返らせることでメタボリックシンドロームの予防を促す取り組み
 - 専門家や栄養教諭による「子どもの健康を守る生き方、食べ方」に関する研修会を実施
- など

取り組みの具体的な手法や特徴的なこと	栄養教諭や学校栄養職員が配置されていない学校に勤務する 경우가多く、校務分掌の中で、「食育」や「給食」に携わる場面が多い。 そのため、自校の健康課題を見据え、多岐にわたる「食」に関する内容の中でも、今自分の学校の児童生徒には何が必要かを考えて、関係職員と計画を立案し、最優先課題を意識的に盛り込んでいける利点がある。 今後も、「児童生徒へのヘルスプロモーション」を常に念頭に置きながら、自校の職員や家庭、関係機関と手を携えて、「食育」に取り組んでいきたい。
---------------------------	--

10 青森県学校栄養士協議会

活 動 内 容

- 1 ふるさと産品給食の日
 - ・毎年6月・11月に県内や地元産品を多く取り入れた給食を実施し、給食だよりや校内放送などで紹介し、児童生徒、保護者に対し地産地消の啓発を図っている。
- 2 あおもり型給食の献立及び減塩料理の作成
 - ・県スポーツ健康課のあおもり型給食促進事業を受けて、コンセプト(塩分控えめ・野菜たっぷり・あぶらほどよく・ごはんしっかり・青森に感謝)に沿った献立の作成及び県販売戦略課のだし活事業を受けて、減塩料理の作成に取り組んだ。
- 3 生活習慣病予防に関する研究会「すこやか食生活大作戦」
 - ・肥満の出現率が高い青森県の児童生徒に対し、肥満解消に向けて会員全員で、研究会を25年度から立ち上げ3年計画で行っている。次年度、アンケート等を実施し、成果を検証する予定。
- 4 調理講習会の実施
 - ・児童生徒に喜ばれる給食を目指し、2月に県内の料理人を講師に迎え会員の資質の向上に努める。
 - ・会員が講師となり、勤務校や他校の保護者に対し、家庭の食生活の改善を目指し、調理講習会を行った。
- 5 食に関する指導
 - ・給食時間に学級を訪問し、一言栄養指導等を行っている。
 - ・特別活動の時間に、バランスのとれた食事、朝食、おやつの摂り方等の指導を行っている。
 - ・家庭科や保健体育などの教科の時間に、調理実習やより良い発育、病気の予防などについて指導を行っている。
 - ・児童生徒、保護者、地域の住民が集まる学校保健委員会では養護教諭と連携し、健康的な食生活をおくるための助言を行っている。

11 NPO法人 青森県消費者協会

活 動 内 容	
1 食育活動の継続 (1)食の安全・安心推進事業 (2)地産地消推進事業・県産食材利用推進事業 (3)震災復興応援事業	
2 重点的な取組内容	
事業名 ①	食の安全・安心推進事業（11回）
期 日	平成26年4月～平成27年3月
場 所	青森市・弘前市・十和田市・五所川原市・仙台市
活動内容・参加者等	<p>食の安全・安心の推進について専門家を招き、講演会、フォーラム、研修会、学習会・料理講習会等を開催</p> <p>■5月28日(水) 平成26年度 消費生活大学講座第一回 「食品偽装表示問題について～安全・安心なくらしのために～」 講師：消費者庁表示対策課上席景品・表示調査官 南 雅晴氏 会場：県民福祉プラザ4F県民ホール</p> <p>■8月29日(金) 「県民フォーラム in 弘前」 テーマ「安心で豊かな食生活のために 食品を選ぶには ～暮らしの中の食品添加物～ ～食に氾濫する食品添加物～」 講師：学校法人弘前城東学園理事長 下田 敦子氏 会場：弘前医療福祉大学4Fセミナーホール</p> <p>■9月5日(金) 「食の安全・安心に関するリスクコミュニケーション」 テーマ「食品のリスクマネジメント@キッチン」 講師：内閣府食品安全委員会委員 石井 克枝氏 会場：ラ・プラス青い森2F「カメラア」 県食の安全・安心推進課との共催</p> <p>■9月12日(金) 「県民フォーラム in 十和田」 テーマ「食の安全・地産地消」 講師：十和田おいらせ農業協同組合 指導やさい部やさい販売課長 斗澤 康弘氏 会場：十和田市民文化センター第4研修室</p> <p>■10月3日(金) 「県民フォーラム in 五所川原」 テーマ「素材を味わう～いのちを支える食を伝える～」 講師：あおり食命人 伊藤 志賀子氏 会場：長円寺大広間</p> <p>■10月21日(火) 「香りを味わう！？食生活」 講師：北里大学食品機能安全学研究室 大畑 素子氏 会場：県民福祉プラザ3F共用研修室1</p> <p>■12月2日(火)</p>

平成26年度地方消費者グループ・フォーラム～東北ブロック～
 分科会に出席(5つのグループに分かれて意見交換・交流)
 テーマ:「放射線汚染。あなたは買う? 買わない?」
 助言者:福島県生協連 専務理事 佐藤 一夫氏
 会場:仙台ガーデンパレス2F鳳凰

■12月19日(金)
 青森県消費者活動活性化県民フォーラム
 テーマ「消費者市民社会で私たちのできること」
 講師:(株)消費と生活社編集長 前田 ちえ子氏
 会場:ラ・プラス青い森2F「カメラ」

■1月22日(木)
 「健康教室ヘルシーセミナー」
 講師:青森ヤクルト営業部CS推進課主任 有賀 友美氏
 会場:県民福祉プラザ3F共用研修室1

■1月29日(木)
 「ヘルシークッキング講座」
 講師:青森ヤクルト営業部CS推進課管理栄養士 高橋 真理子氏
 会場:県民福祉プラザ5F調理実習室

■2月26日(木)
 「異物混入! ? 業界のこぼれ話の中にある真実」
 講師:一般社団法人青森県薬剤師会衛生検査センター所長 川村 仁氏
 会場:アップルパレス青森3F「ねぶたの間」

事業名 ②	地産地消推進事業・県産食材利用推進事業 (7回)
期 日	平成26年4月～平成27年3月
場 所	青森市・弘前市・大鰐町・十和田市・八戸市
活動内容・参加者等	<p>県産品に親しみ、利用拡大するためのフォーラム、料理講習会、バスツアー等を実施。</p> <p>■5月1日(木) 「津軽の食材で医食同源」調理実習 講師:青森市消費者の会会長 大森 頼子氏 会場:青森市総合福祉センター2F調理実習室</p> <p>■6月12日(木) 「津軽の地産地消バスツアー」 大鰐温泉もやし生産現場の見学・かねさ味噌工場見学及び商品購入</p> <p>■9月2日(火) 「ちくわ工場見学」 会場:(株)丸石沼田商店</p> <p>■9月12日(金) 「県民フォーラム in 十和田」 テーマ「食の安全・地産地消」 講師:十和田おいらせ農業協同組合 指導やさい部やさい販売課長 斗澤 康弘氏 会場:十和田市民文化センター4F研修室</p> <p>■10月7日(火) 「県南の地産地消バスツアー」 十和田ぼけしらずネギの流通と生産現場見学他</p> <p>■10月24日(金) 「県民フォーラム in 青森」 テーマ「今もう一度 考えてみよう 地産地消」</p>

	<p>パネルディスカッション形式での討論会</p> <p>【コーディネーター】白川 弘子氏(消費生活大学院グループ代表)</p> <p>徳差 知子氏(生産者代表:JA青森げんき畑代表)</p> <p>亀野 岳志氏(流通業界代表:イオン青森店店長)</p> <p>大森 頼子氏(消費者代表:青森市消費者の会会長)</p> <p>佐藤 和子氏(消費者代表:青森生活学校連絡会会長)</p> <p>堀口 恵里子氏(県総合販売戦略課 地産地消グループ 総括主幹)</p> <p>会場:県民福祉プラザ2F 多目的室2A</p> <p>■11月11日(火)</p> <p>「第50回青森県消費者大会」</p> <p>食の安全・安心及び県産食材利用推進のため、青森県すこやか福祉事業団他22団体から出展</p> <p>会場:県民福祉プラザ4F大・中研修室</p>
事業名 ③	震災復興応援事業(1回)
期 日	平成26年4月～平成27年3月
場 所	青森市
活動内容・参加者等	<p>震災後、風評被害もあり売れ行きが芳しくなった岩手県三陸の「わかめ」「揚げせんべい」を支援する目的で来場者全員(450名)にお土産品として配った。</p> <p>■11月11日(火)</p> <p>「第50回青森県消費者大会」</p> <p>わかめ(宮古市田老町漁協の切り葉わかめ)</p> <p>山田揚げせんべい(おんがえし)</p>
事業名 ④	食品ロス推進事業(2回)
期 日	平成26年4月～平成27年3月
場 所	青森市
活動内容・参加者等	<p>食品ロス削減を目的とした講演会、料理講習会の開催</p> <p>■10月27日(月)</p> <p>「食品ロス削減全国運動講演会」</p> <p>テーマ「全国のキッチンから食品ロスをなくしたい」</p> <p>講師:全国生活学校連絡協議会会長 金山 富士子氏</p> <p>会場:ラ・プラス青い森2F「メープル」</p> <p>■12月9日(火)</p> <p>「サルベージランチ」調理実習</p> <p>今まで捨てていた食材の部分もサルベージし、料理するというねらい(大根をまるごと1本すべて使いきるというテーマで開催)</p> <p>会場:青森市総合福祉センター2F調理実習室</p>
事業名 ⑤	高齢者向け食育推進事業(1回)
期 日	平成26年4月～平成27年3月
場 所	青森市
活動内容・参加者等	<p>シニア向け料理教室で栄養のバランスやメニューの提案を学ぶ講座を開催</p> <p>■9月10日(水)</p> <p>「meijiが提案するシニア向け料理講座」</p> <p>講師:(株)明治東北支社 管理栄養士食育支援担当 夏井 昌子氏</p> <p>会場:県民福祉プラザ5F調理実習室</p>

12 青森県食生活改善推進員連絡協議会

活 動 内 容	
1	男性料理講習会 男性を対象に、生活習慣病予防や食育をテーマに、調理実習、講話、健康相談を実施。
2	食育推進事業 地域住民、一般成人、中高校生を対象に、望ましい食習慣、知識、地産地消などを普及啓発。
3	エコクッキング活動 食べ物を大切にする心を育て、ごみの削減、水の節約等につながるエコクッキングを普及啓発。
4	8020推進事業 8020推進隊育成への協力及び関連事業への積極的な参加協力。
5	食事バランスガイド推進事業 食事バランスガイドの普及浸透を図るための調理実習、講話会、伝達講習を実施。
6	スピードアップ減塩運動 県内で、講習会イベントなどの機会をとおして、減塩運動を推進。
7	高齢者の低栄養予防教室 高齢者が元気で地域活動に参加したり、自らの健康管理ができるように、低栄養予防の料理講習会及び講話などを開催。
事業名 ①	「健やか女子クッキング」メニュー集作成
期 日	通年
場 所	
活動内容・参加者等	20代～30代の女性の食生活調査結果に基づき、県栄養士の方々と県食改理事達とで料理集の作成中
事業名 ②	家庭の味噌汁の塩分調査
期 日	通年
場 所	県内全域
活動内容・参加者等	減塩と高血圧予防を目的に県内全域で実施。塩分測定器を使い、各家庭を訪問し、味噌汁の塩分濃度を測定。県内5,000軒目標
事業名 ③	味感を育む「だし活」事業（県委託）
期 日	平成26年9月～平成27年2月まで
場 所	県内各保健所管内 3地区ずつ
活動内容・参加者等	県内の大手スーパーに交渉して(保健所管内3カ所ずつ)煮干し、昆布を各々ペットボトル(500ml)に入れ、一昼夜おき、来場者に試飲させる。 試飲結果を聞き、減塩につながる事を伝える。
事業名 ④	県民大会でのバランス食・減塩味噌汁の試飲提供
期 日	平成26年8月30日
場 所	リンクステーション青森
活動内容・参加者等	来場者に対し、バランス食・減塩味噌汁を提供(650食)した。

13 青森県生活協同組合連合会

活 動 内 容	
1	食育活動の継続 (1) 産地交流、夏休みメーカー見学、農作業体験、収穫体験 (2) 親子でクッキング、コープで離乳食、漬け物作りなどの開催 (3) 田植え・稲刈り体験（食育クイズ実施）2か所の保育所から園児が参加 (4) 児童館で小学生を対象に健康チェックと料理教室 (5) 食の安全に関する学習や出前講座の推進

2 重点的な取組内容	
事業名 ①	青森県生協連第30回生協大会
期 日	平成26年11月18日(火)
場 所	リンクステーションホール青森
活動内容・参加者等	講演 「日本の食・・・ここが問題」 (遺伝子組み換え食品・残留農薬問題・食品添加物など) 講師 天笠 啓祐氏 出会いと交流の場 ・県産品の展示・試食・販売 ・県産材ひば製品の販売 ・健康チェックコーナー
事業名 ②	地引網体験(体験を通して食を知る)(親子で参加)
期 日	平成26年7月20日
事業名 ③	生協ふれあいの森 植樹祭の実施
期 日	①平成26年5月23日、②平成26年6月6日
場 所	県内2か所 (①青森市眺望山「自然休養林」、②十和田市仙人平「蔦の森」)
活動内容・参加者等	(1)牛乳パック回収運動で得た収益金で「ヒバ」と「ブナ」の苗木を購入し、青森森林管理署と三八上北森林管理署から借り受けた国有林に植樹。 (2)両管理署のご協力、山と食の関係、山と海の関係、木材のことを学習し植樹。自然観察も実施。

14 青森県生活研究グループ連絡協議会

活 動 内 容	
各地区生活研究グループ連絡協議会が企画し、以下の取組みが実施された。	
事業名 ①	「津軽の味っこ」伝承料理講習会(弘前地区連)
期 日	平成26年12月10日
場 所	弘前市総合学習センター 調理室
活動内容・参加者等	○目的:郷土料理を若者や子ども達の嗜好にも合うように味付けを工夫し、食の文化伝承財として伝承していくために、平成24年度から開催している。 ○内容:郷土料理(6品)の調理実習 ○参加者:弘前市一般市民32名、生活改善グループ員10名、中南県民局地域農林水産部2名
事業名 ②	東北栄養専門学校生のための郷土料理伝承会(黒石地区連)
期 日	平成27年1月17日
場 所	弘前市 東北栄養専門学校 調理室
活動内容・参加者等	○内容:郷土料理の著うち実習(5品) ○参加者:2年生28名、教師5名、生活研究グループ員9名、中南県民局地域農林水産部1名 ・平成20年から年1回実施されている。(今年度で7回目) ・郷土料理メニューは学校からの意見を取り入れながらグループ員が検討して決めている。
事業名 ③	食育交流会(平賀地区連)
期 日	平成27年1月24日
場 所	平川市 生涯学習センター 調理室
活動内容・参加者等	○内容:郷土料理(地元産品を活用した料理やお菓子6品)の実習 ○参加者:小学生3名、厚生員1名、生活研究グループ員7名、中南県民局地域農林水産部1名

	<ul style="list-style-type: none"> ・募集方法:児童館等でチラシ配布。 ・地区連の食育活動のテーマとして作成した「和え物レシピ」(H22)を参考に、食育交流会のメニューに取り入れている。
事業名 ④	手作りの味と技を楽しむ回 (鱒ヶ沢地区連)
期 日	平成26年9月10日
場 所	鱒ヶ沢町「岡山の家」
活動内容・参加者等	<ul style="list-style-type: none"> ○地元食材を活用した家庭料理や伝統料理の調理実習(4種類)と消費者交流。 ○講師:地区連会員 ○対象:地域の料理に関心のある一般消費者(当日参加者4名) ・参加者は、各会員が地域の人に声をかけて集めているほか、会場前の掲示板にポスターを貼って通知している。
事業名 ⑤	食育交流会 (上北地区連)
期 日	平成26年12月9日
場 所	十和田市南公民館 実習室(十和田市)
活動内容・参加者等	<ul style="list-style-type: none"> ○三五八漬け、そばもち、里芋入り豚汁づくりの調理実習 ○参加者:十和田市南公民館の講座受講生24名、生活研究グループ員16名 ○調理実習後、ランチ交流会を行い野菜の食べ方や郷土料理について意見交換した。 ・昨年度に引き続き実施。

15 一般社団法人 青森県調理師会

事業名 ①	衛生管理講習会
期 日	平成26年7月17日
場 所	青森国際ホテル
活動内容・参加者等	<p>青森市保健所より講師を派遣していただき、食品衛生管理及び施設の衛生管理の研修会を実施。食の安全安心を第一に考え、毎年継続する。</p> <p>参加者40名</p>
事業名 ②	郷土料理継承 親子料理教室
期 日	平成26年9月7日
場 所	アピオあおもり
活動内容・参加者等	<p>親子で協力して料理を作ることで、親子のふれあいを図るとともに、食品衛生や食材の扱い方や、食事のマナー等も指導している。</p> <p>参加者17名(8組)</p>
事業名 ③	「あおもり食命人」による「津軽海峡ブランド博」への出展
期 日	平成26年11月22日～23日
場 所	青森産業会館
活動内容・参加者等	<p>県からの委託事業として、調理師会員の「あおもり食命人」が、健康に留意した「命を支える食・スープ」を来場者に提供。</p> <p>2日間で1,000名に試食</p>
事業名 ④	フグ処理実技講習会
期 日	平成27年2月22日(予定)
場 所	学校法人ケーエム学院 青森調理師学校
活動内容・参加者等	<p>毎年フグ処理技術の向上を図るため独自で実技指導を行ってきたが、今年度からフグ調理の許可のための学科講習に加え、県知事の指定する実技講習を担うこととなった。</p> <p>参加者募集中。</p>

16 青森県農業協同組合中央会

事業名 ①	小学校5年生用社会科副読本「いのちはぐくむあおもりの農林水産業」の発行
期 日	平成26年4月1日発行
活動内容・参加者等	小学校5年生の社会科で学習する「わが国の産業と国土のようす」について、本県の例を参考に学習してもらうための副読本と、教師用の指導書を作成(児童用13, 500部、教師用1, 300部)。小学校5年生全員に配布。
事業名 ②	「ごはんお米とわたし」作文・図画コンクール
期 日	平成26年7～12月
活動内容・参加者等	毎日のごはんのおいしかったことや家族とのコミュニケーション、お米・ごはん食についての思い出や、考えたことなどを素直な気持ちで自由に表現してもらい、農業(特にお米やごはん食)を理解してもらうためにコンクールを実施。 ○対象: 県内全小・中学校 実施校134校 ○作文334点、図画156点
事業名 ③	「バケツ稲づくり」
期 日	平成26年4月～
活動内容・参加者等	バケツを使って稲を育てるという一連の作業をとおして、お米やごはん、稲作文化、農業、食料の大切さを理解してもらうために、「バケツ稲づくりセット」①種籾(肥料付)、②栽培マニュアルを無償配布。 ○対象: 全小学校(原則として5年生) 実施校50校 2, 155セット
事業名 ④	JAふるさと市
期 日	平成26年11月8～9日
活動内容・参加者等	JAグループ青森、青森県漁業協同組合連合会、青森県森林組合連合会、(公社)青森県物産振興協会、あおもり産品販売促進協議会主催の、「ぜ～んぶあおもり大農林水産祭」に、JAグループ青森は「JAふるさと市」として出展し、消費者に対して県産農畜産物の安全性やおいしさをPRする試食販売会や、JA・協同組合の活動を理解してもらうためのPR活動を実施した。 ○場 所: 青森市「青森産業会館」 ○出店内容: りんご(生果)、りんごジュース、ながいも、にんにく、ごぼう、かぶ、長ねぎ、白菜、ゼネラルレクラーク、漬物、スイーツなどを販売

17 青森県JA女性組織協議会

事業名 ①	農業ふれあい教室
期 日	平成26年4～12月
活動内容・参加者等	地域の子どもたちに、農産物の栽培をとおして、作る楽しさと食べる喜びを感じてもらい、農業に対する理解と地産地消の啓もうを図るために、県内5JA女性部で管内小学校児童と一緒に植付けから収穫までの農業体験や、収穫した農産物を使った料理教室などを実施。県内園児・小学生393名が参加。
事業名 ②	作文・かべ新聞コンクール
期 日	平成26年12月
活動内容・参加者等	農業ふれあい教室で農作業を体験した児童に作文・かべ新聞を書いてもらい、優秀者等を表彰。 応募作品数 作文:4小学校から10作品、かべ新聞:5小学校から8作品
事業名 ③	各JA女性部による地域に根ざした食育活動の展開
活動内容・参加者等	各JA女性部においても、食育活動の一環として、地元小学校と連携し、学校給食の食材として地場産物を納入したり、農作業や調理など、各種体験学習の受入を実施。

18 全国農業協同組合連合会青森県本部

活 動 内 容

「安全・安心」な県産農畜産物への理解者づくりと消費拡大を図るとともに、「地域社会への貢献」に資するため、以下の食育活動に取り組み、農業や地場産農畜産物への親近感の醸成に努めました。

1 紙芝居キャラバン：やさい部やさい花き課

従来、対象としてきた小学生低学年から枠を拡げて開催。

トリオ・ザ・ポンチョスのトークによる「青森いきいきやさい紙芝居」を実施しました。

◆実施状況

実施月日	市町村名	学校名	備 考
7月2日	東北町	蛭 沢 小学校	全校児童 261名
9月3日	六ヶ所村	尾 駁 小学校	〃 336名
12月17日	八戸市	大久喜 小学校	〃 61名
2月3日	青森市	原 別 小学校	低 学 年 137名
3月5日	つがる市	森 田 保育園	園 児 100名(予定)
計	5市町村	5校	895名



2 弁当の日（食育講座&料理体験）：やさい部やさい花き課

食と健康との密接な関りへの理解と郷土で生産された農畜産物に愛着心をもってもらうことや家族への感謝の気持ちを育むことを目的として開催。

今年度は、むつ市の大平中学校と同市と友好都市関係にある会津若松市内の中学校6校の生徒を対象に、食育講座や県産のやさい・米・肉・りんごを食材とした弁当作りを実施しました。

①実施月日：平成26年8月21日



(平成27年2月24日に第2回の開催を予定)

3 「親子の鍋」料理コンテスト：やさい部やさい花き課

「鍋をつつく」「鍋を囲む」…①鍋を介しての家族団欒や、②鍋だからこそその野菜の摂取、そして県産なのがいもやんにく・ごぼうの消費拡大を図る思いから開催。

- ① 実施月日：平成27年2月15日(日)
- ② 場 所：青森県総合社会教育センター 調理実習室
- ③ 対 象：親と子(小学生)2名1組
- ④ 内 容：調理時間90分、4人分×2鍋を調理するものです。

4 食育体験（餅つき体験・バター作り体験）：営農対策部販売企画課

農協会館1Fロビーでの「農畜産物即売会」や「歳末市」において、JA青森女性部の協力のもとに、子供達を対象に餅つきやバター作り体験などの食育活動に取り組みました。

◆実施状況

実施月日	催事名	実施場所	内容	備考
6月21日	農畜物即売会	農協会館1F	餅つき	
7月19日	〃	〃	餅つき	
8月 9日	〃		餅つき	
9月19日	〃		餅つき、バター作り	杉の子幼稚園園児37名
10月17日	〃		餅つき、バター作り	杉の子幼稚園園児39名
12月13日	〃		餅つき	
27日	歳末市	農協会館1F	餅つき	
28日	〃	〃	餅つき	



バター作り:生クリームと牛乳入りのペットボトルを、出来上がるまで10分くらい懸命にふる子供たち

19 青森県青果卸売市場協会

事業名	親子収穫体験教室
期 日	平成26年10月18日(土)
場 所	青森市浪岡地区
活動内容・参加者等	青森農協東部りんごセンターでリンゴの入庫、選果、出荷の様子を見学した他、同地区圃場にてリンゴの収穫のしかたを学習し、実際に「シナノスイート」、「サンジョナゴールド」の収穫体験をした。 参加者 小学生と保護者 計30名

20 青森県水産物卸売市場協会

事業名 ①	「青森市中央卸売市場食育推進委員会」としての取組～青森地区～
事業名	夏休み親子市場体験会
期 日	平成26年7月26日
場 所	青森市中央卸売市場
活動内容・参加者等	18名(子ども9名、保護者9名)が参加し、市場内施設やせり売りを見学したほか、魚の捌き方教室、すいか食べ比べなどを行った。
事業名 ②	小中学校への食育・花育活動～青森地区～
期 日	実施)
場 所	1 平成26年9月20日:青森市立長島小学校(児童13名+保護者7名)
参 加 者	2 平成26年11月1日:青森市立浦町小学校(児童9名+保護者6名)
	3 平成26年12月2日:青森市立浪岡本郷小学校(保護者7名)
活動内容	1 青森市立長島小学校:「学校訪問型料理教室」 (公社)青森県栄養士会から講師を招き、①ホタテとじゃがいものバター醤油炒め②まきまきサラダ③みそ汁④フルーツヨーグルト⑤うさぎりんご を調理 2 青森市立浦町小学校:「学校訪問型料理教室」 (公社)青森県栄養士会から講師を招き、①ホタテとじゃがいものバター醤油炒め②まきまきサラダ③みそ汁④フルーツヨーグルト⑤うさぎりんご を調理 3 青森市立浪岡本郷小学校:「フラワーアレンジメント教室」 (公社)日本フラワーデザイナー協会青森県支部から講師を招いて、フラワーアレンジメント教室を実施

事業名 ③	おさかな食育クッキング～弘前地区～
期 日	1 第54回 平成26年 7月19日：東北女子大学 大人13名、子ども13名
場 所	2 第55回 平成26年 9月27日：東北女子大学 大人34名、子ども5名
参 加 者	3 第56回 平成26年11月29日：東北女子大学 大人33名、子ども8名
	4 第57回 平成27年 1月24日：東北女子大学 大人33名、子ども4名
活 動 内 容	1 東北女子大学が講師となり、「いわしのかば焼き丼」、「青森県産ほたて&するめいかと野菜たっぷりカレーサラダ」、「しじみの豆乳味噌汁」を調理。参加料：一人500円
	2 東北女子大学が講師となり、「ほっき貝の中華粥」、「さばの中華あんかけ」、「いかとかぶの中華和え」を調理。参加料：一人500円
	3 東北女子大学が講師となり、「ぶりの琉球丼」、「はたはたのホイル焼き」、「切り昆布とオクラのサラダ」を調理。参加料：一人500円
	4 東北女子大学が講師となり、「たらと白子のみそちゃんこうどん」、「ほっき貝のフライ」、「めかぶと長いもの梅肉和え」を調理。参加料：一人500円
事業名 ④	施設見学会「魚市場を見に行こう」 ～五所川原地区～
期 日	平成26年9月27日
場 所	丸中五所川原中央水産株式会社(卸売市場・会議室)
参 加 者	児童34名
活 動 内 容	水産会社社員の説明により、市場の魚介類の競り売りの様子や、マグロ解体等を見学し、流通の仕組みや地元で水揚げされる旬の水産物について学習をする。また、地域市場の現状を知ってもらう。 市場で販売されている旬の魚等の朝食をとりながら、食事のマナーについても勉強。

21 一般社団法人 青森県りんご対策協議会

事 業 名	若年層を対象とした消費宣伝対策事業 学校等での青森りんご活用アイデア募集
期 日	平成26年9月～平成27年3月(一部実施中)
場 所	新潟県、静岡県、北陸地区、京都府、滋賀県、兵庫県、中国地区、四国地区、九州地区
活 動 内 容・ 参 加 者 等	・幼稚園～小学校児童を対象とした食育用紙芝居を作成し、全国各地で実施する食育授業等イベントにおいて活用。 また、本会ホームページ上において紙芝居をダウンロードできるようにしたほか、セリフ付きデジタル紙芝居も合わせて作成し配信。 ・全国の幼稚園、学校(小、中、高等学校、大学、専門学校等)から青森りんご活用方法を本会ホームページ上において募集、優れた活用アイデアの提案校に対し青森りんごを提供。 (愛知県豊橋市立富士見小学校 全国りんご皮むき大会への協賛など) ・小学校学習用下敷50,000枚、消しゴム30,000個、定規30,000枚を作製し、全国各地の青果会社を通じて小学校等に配布し、青森りんごの学習用として活用。 ・近年果実離れが著しい若年層への青森りんごの普及及び消費拡大のため全国各地の小学校、幼稚園、保育園へ学習用、給食用として青森りんごを提供。 ・青森県農林水産部りんご果樹課が実施する小学校での出前授業にミスりんごが参加し、青森りんごの健康への効果等を説明。

22 公益財団法人 青森県りんご協会

事 業 名	青年部 りんごPR即売事業
期 日	平成26年2月上旬(予定)
活 動 内 容・ 参 加 者 等	りんごのPR即売を予定

23 青森県漁業協同組合連合会

活 動 内 容	
1 青森県産の鮮魚海藻類の品質、衛生管理面の向上に努める。 2 適正な産地表示にもこれまで以上に取り組み、消費者との信頼関係を構築する。 3 青森ほたてのPRと、消費拡大を図るための宣伝活動を継続的に実施する。 4 青森ほたての生産情報、料理等のDVDを製作し、各拠点での放映のほか、貸出等を行い、普及啓発を行っていく。 5 ホームページでの「青森のお魚」「お魚クイズ・ことわざ・漢字」や「ネット販売」により、魚への知識向上と消費者への魚食普及を図る。	
取組の具体的な手法や特徴的なこと	漁協、関係団体と連携を密にし、本県水産物のさらなる普及を図る。

24 青森県漁協女性組織協議会

活 動 内 容	
各地の漁協女性部の活動を支援。 1 部員を対象とした活動への支援 (1) 地元で獲れる多種多様な魚の料理教室(郷土料理の伝承) (2) 子どもの成長を願う行事での料理教室(伝統料理の伝承) 2 学校を対象とした活動への支援 小学校、中学校、高等学校での料理教室(魚離れ対策、魚の料理法の普及) 3 一般県民を対象とした活動への支援 各イベントに出店参加して、加工品の販売、魚食普及PR	
取組の具体的な手法や特徴的なこと	地産地消、魚離れ対策、一次二次加工による付加価値をつける魚の料理法、伝統料理、郷土料理の伝承。 今後は保健所とも連携したい。

25 八戸水産加工業協同組合連合会

活 動 内 容	
八戸の水産加工業者にも短命県返上の一翼を担う食育意識を高揚させるため情報力を強化	
事業名 ①	「あおり食命人育成研修」の開催…会員所属企業に「連絡書」で情報提供
期 日	平成26年9月2日～10月27日の期間内に5回開催
場 所	ユートリー会場
活動内容・参加者等	男性の参加が少なく女性会のようなであった。また、食育活動は「料理人」がメインとなつてしまい、食品加工業者の段階から食育を浸透させようとする意気込みが不足。食品加工業スタッフにも食命人を育てるべき。ファストフードの影響は多大なはず。
事業名 ②	「はちのへ水産加工展示商談会2014」に協力(後援)
期 日	平成26年6月25日
場 所	八戸プラザアーバンホール
活動内容・参加者等	国内外のバイヤー600人参加。青森ブランドに食育のポリシーも植えつけたい。平成27年は、6月に被災5県が連携して、「東北復興水産加工品展示商談会」を仙台で開催予定。
事業名 ③	第5回「日本さかな検定」八戸会場での開催
期 日	平成26年6月8日

場 所	八戸水産会館
活動内容・参加者等	老若男女122名が受検。 若い世代にも受検して頂くことにより、漁食普及と料理方法に興味を抱かせるのが狙い。 平成27年は6月28日同会場で開催する。

26 公益社団法人 青森県物産振興協会

事業名 ①	「青森の食の魅力」を発信する青森県物産展等の開催
期 日	平成26年4月～平成27年3月
場 所	県内外の百貨店、量販店、当協会直営催事スペース(新青森駅内)
活動内容・参加者等	本県が誇る安全・安心な農林水産物及びその加工品を県内外の消費者に広く紹介するために、物産催事を開催し、「青森の食の魅力」を発信した。
事業名 ②	県内産地直売施設や郷土料理・県産農林水産品などの情報誌「マルシェde青森」の発行
期 日	平成26年10月24日
発行部数	15,000部
活動内容・参加者等	郷土料理、安全・安心な県産農林水産品や県内産直施設を県民局のエリアごとに掲載したガイドブック「マルシェde青森」を作成し県内の観光案内所や掲載施設等約100カ所で配布した。 特に、今年度は青函とのコラボ商品も紹介した。

27 株式会社さくら野百貨店

事業名 ①	シニア野菜ソムリエの「野菜・食べくらべ教室」
期 日	毎月青森店にて1回開催
場 所	さくら野青森店
活動内容・参加者等	青森店の顧客を対象(20～40名)に、旬の野菜・果物の食べくらべや保存方法、調理方法を紹介し、野菜・果物の魅力を多くの方へ広げる活動を実施
事業名 ②	シニア野菜ソムリエの「野菜・食べくらべ教室」(外部への取組として)
期 日	毎月1回
場 所	企業セミナー
活動内容・参加者等	各企業の顧客を対象(55名)に旬の野菜・果物の食べくらべや保存方法、調理方法を紹介し、野菜・果物の魅力を多くの方へ広げる活動を実施
取組の具体的な手法や特徴的なこと	地方の産地・取引先等からの協力もいただき実施
備 考	平成27年度も実施予定

28 株式会社ユニバース

活 動 内 容	
1	あおもり食命人認定弁当、ヘルシー弁当の考案・販売
2	東北女子大生と共同でお弁当の開発・販売
3	子どもが作る「お弁当の日」開催
4	食育料理教室(2か月に1回、平成27年2月4日現在 6企画8回開催)
5	親子大豆種まき・収穫体験開催、嶽きみ収穫体験開催

6	「食育&健康 もっと野菜を食べよう」をPR
7	毎月「おいしい・ヘルシー簡単食育レシピパンフレット」(厳選6品掲載)を制作し、全店にて配布)
8	チラシ上で、「減塩・低カロリー・低脂肪特集」を実施(月1回)
9	店内にて「だし活」PR・試飲 (3店舗)
10	地産地消の取り組み:県産品フェアを実施(9月に7店舗)
11	食品残渣の堆肥化による野菜(エコごぼう、エコ長芋)の販売(33店舗)
事業名 ①	あおもり食命人弁当、ヘルシー弁当の考案・販売
期 日	常時
場 所	ユニバース青森県内全店
取組の具体的な手法や特徴的なこと	「あおもり食命人」認定の弁当を考案し販売しております。(約3回/年入替え) 県産食材をできるだけ取り入れ、アレルギーやカロリーをわかりやすく表示 少量多品目で女性や高齢者向けを意識しています。
事業名 ②	東北女子大学の学生と共同でお弁当の開発・販売
期 日	販売第1弾:平成26年10月12日～、第2弾:11月14日～
場 所	ユニバース全店
活動内容・参加者等	東北女子大生と8種類のお弁当を共同開発し販売しました。(店舗により継続中) だしのうま味の活用により塩分控えめでも美味しく健康に配慮しています。 (平成26年10月10日 第2弾の商品説明のため知事表敬)
取組の具体的な手法や特徴的なこと	東北女子大(弘前市)の学生と、健康に優しい弁当や惣菜を考案。 県産食材を中心に使用し、減塩の他にも野菜を多く取り入れるなど工夫。 販売PR用にオリジナルDVDを製作、POP、ポスターなども活用
事業名 ③	「子どもが作るお弁当の日」開催
期 日	平成26年11月19日
場 所	青森県弘前市立城西小学校
活動内容・参加者等	六学年43名の児童を対象に、お弁当作りのすべてを子ども自身が行う「お弁当の日」を開催。“食”について学び感謝の心を育む機会になりました。
取組の具体的な手法や特徴的なこと	小学校へ食材提供 開催風景・お弁当画像を掲載したパンフレット制作、ポスター掲示(全店にて)
事業名 ④	料理教室の開催
期 日	2ヶ月に1企画(平成27年2月4日現在 6企画8回開催)
場 所	八戸市、青森市、弘前市
活動内容・参加者等	今年は親子を対象にした企画を中心とし、1回で約20名様が参加。 食育に関する講習会や管理栄養士によるアカデミーも開催。
取組の具体的な手法や特徴的なこと	食品メーカー様とタイアップして開催するほか、子どもたちの身近な食品(お菓子など)を通して「食の安全・安心」を学ぶなど、効果的に活動を展開
事業名 ⑤	「親子大豆種まき・収穫体験」、「嶽きみ収穫体験」の開催
期 日	大豆種まき:平成26年6月22日、収穫:10月4日、嶽きみ収穫:8月31日(野菜の日)
場 所	大豆体験:七戸町、嶽きみ体験:弘前市の岩木山麓
活動内容・参加者等	大豆体験:6月農家の畑を一部借りて大豆の種まきを行い9月成長した枝豆を収穫。 (20組40名様)収穫後は枝豆の試食や紙芝居で食育について楽しく学びました。 嶽きみ体験:実際に収穫し食べて収穫の魅力を味わいました。(親子25組75名様)
事業名 ⑥	「食育&健康 もっと野菜をたべよう」をテーマにPOP・チラシPR掲載
期 日	平成26年8月～
場 所	ユニバース全店、全店チラシ
活動内容・	「食育&健康 もっと野菜を食べよう」をテーマに店内でPOP活用やチラシ表示するこ

参加者等	とで食育活動の啓蒙を実施しました。
事業名 ⑦	「おいしい・ヘルシー簡単食育レシピパンフレット」の制作・配布
期 日	毎月発行
場 所	ユニバース全店
活動内容・参加者等	管理栄養士野呂浩子先生監修によるパンフレットレシピに、減塩調理・丈夫な体作りのできるバランスの良いメニュー提案など啓蒙活動を掲載しています。

29 株式会社マエダ

事業名 ①	タラを喰らう会
期 日	平成26年2月1日
場 所	マエダ本店
活動内容・参加者等	脇野沢名産のタラを脇野沢連合婦人会の方々が調理し、提供。こっこ汁、とも和え、ささめ煮、こあえ等のタラ料理を食べて戴く、52名参加(成人対象)
事業名 ②	アンコウを喰らう会
期 日	平成26年3月21日
場 所	マエダ本店
活動内容・参加者等	風間浦名産のアンコウを、風間浦村の駒峰商店の協力で調理し、提供。鍋、雑炊、とも和え等、地元ならではの食べ方を紹介。33名参加(成人対象)
事業名 ③	山菜を喰らう会
期 日	平成26年5月17日
場 所	むつ市薬研
活動内容・参加者等	地元のガイドと共に山菜を収穫。散策する際ガイドから山の植物についての説明もある。収穫後は山菜料理を食して頂く。体力別にコースを分け、親子で参加出来るようにした。23名参加(親子含む)
事業名 ④	きのこを喰らう会
期 日	平成26年10月4日
場 所	むつ市薬研
活動内容・参加者等	むつきのこ会のガイドできのこを収穫。その際きのこの鑑定もしてもらい。収穫の後は、きのこ料理を食して頂く。体力別にコースを分け、親子でも参加できるようにした。35名参加(親子含む)
事業名 ⑤	お弁当の日応援
期 日	平成26年11月10日
場 所	むつ市第二田名部小学校、マエダ本店
活動内容・参加者等	お弁当の日への協力 1 お弁当の日に向けた調理実習への卵とウィンナーのプレゼント。 2 お弁当の日の材料を購入する前週に、『お弁当材料』がを見つけやすくなるよう売場表示を工夫。 3 お弁当の日当日に、学校を訪問し全生徒のお弁当を持った写真の撮影。 4 撮影した写真をマエダ本店で展示することによって、お弁当の日を学校外にもアピール。
事業名 ⑥	お客様向け『料理教室』の開催
期 日	通年
場 所	青森市、むつ市
活動内容・参加者等	食品メーカー様の商品を活用した料理教室を開催。親子対象の企画もある。1回で約20名が参加。
事業名 ⑦	『食育マンガ』のチラシ掲載

期 日	週1回
場 所	週末チラシの右下
活動内容・参加者等	チラシ発行時の時節にあった内容を4コママンガにし、行事や食のいわれを伝える等している。
事業名 ⑧	県産品愛用キャンペーンに合わせた県産品フェアの開催
期 日	平成26年9月～11月
場 所	マエダガーラモール店他
活動内容・参加者等	ガーラモール店へ知事に来て頂き、県産品をお客様にアピール。 各店では県産品愛用応援キャンペーンの応募企画を実施。 マエダでは2,834通の応募。
事業名 ⑨	『むつ市のうまいは日本一』セールスの開催
期 日	平成26年8月30日、31日・平成26年11月29日、30日
場 所	マエダ本店(8月)、マエダガーラモール店(11月)
活動内容・参加者等	むつ市の産品を催事場に集め、試食販売、実演販売などを実施。 むつ市キャラクター「ムチュラン」も登場し、PRを行った。
事業名 ⑩	あおもり食命人事業
期 日	通年
場 所	県内各店舗
活動内容・参加者等	穀類を主食に、野菜・魚介類・大豆製品・海藻類をバランス良くとれるよう「まごわやさしい」をキーワードにあおもり食命人弁当の販売、天然だしを使用した手作り惣菜の販売をしています。

30 株式会社イトーヨーカ堂 青森店

事業名 ①	地元業者の出展による県産品フェア
期 日	平成26年5月28日～6月1日、9月10日～15日
場 所	イトーヨーカ堂青森店 催事場
活動内容・参加者等	地元業者の方や生産者の方が集まり、地産地消の取組を実施した。 農協や漁協との連携で、地産地消の普及啓発をしたい。
事業名 ②	地場野菜コーナー展開
期 日	常時開催
場 所	イトーヨーカ堂青森店 青果売場
活動内容・参加者等	県産品商品を集めて、地場野菜コーナーを展開。 生産者の方の御協力を頂き、常時売場にて地産地消の取組を実施。

31 イオンリテール株式会社 イオン青森店

活 動 内 容	
<p>昨年度に引き続き、事業を実施していく。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 イオンホームページで「Let's食育！」を掲載(URL http://www.aeonretail.jp/kodawari/shokuiku/)。 2 下期「青森めじゃー市」を開催し、地産地消と食育の推進を実施。 3 毎月15日は「じもの日」と銘打って、青森の県産品の「安全・安心」をチラシ訴求するとともに、試食販売を実施。 	
事業名 ①	イオン青森チアーズクラブによる青森の農産物の収穫体験
期 日	①平成26年7月23日 ②平成26年9月14日
場 所	①浪岡地区カシス農園(道の駅アップルヒル近く) ②青森県十和田市三本木 十美ごぼうグループ農場
活動内容・	自分たちの住む青森県の日本一について学習しました。青森県の日本一といえば「り

参加者等	<p>んご」が有名ですが、カシスとごぼうも生産量日本一です。カシスは、やさしく収穫しないとつぶれてしまうので、慎重に収穫しなければならず、日本一のブランドにするためにも手間と時間を惜しまず大切に育てておりました。</p> <p>また、ごぼうは普段から見慣れた、ありふれた野菜と思っておりましたが、どんな風に育つか、葉っぱはどんな形か、メンバーの誰もが知りませんでした。地元の旬の食材を食べることは、栄養も味も大変良いということはもちろん、輸送にかかる燃料費、人件費などの節約にもなることも併せて学ぶことができ、1つの収穫体験から多角的な事柄を学習できたよい体験だったと考えます。</p> <p>今後も継続して参加していきたい活動です。</p>
-------------	---

32 紅屋商事株式会社

事業名	食育コミュニケーション活動
期日	毎月19日を含む週を食育週間として(8月、12月を除く)、その週の土曜日に食育大試食会を実施。(変動する場合あり)
場所	カブセンター、ベニーマート全店(青森新町店は除く) 2014年5月より八戸市にカブセンター長苗代店開店。
活動内容・参加者等	<p>1. 毎月19日を含む週を食育週間とし、その週の土曜日に大試食会を実施。 (①11時～、②15時～) 参加者:食育コミュニケーターの資格を持った従業員を中心とした店舗従業員 (日本食育コミュニケーション協会様より指導)</p> <p>2. 食育コミュニケーション活動の概要 (1)毎月テーマを設け、そのテーマに沿った一汁三菜のメニュー提案により、豊かな「食」に対する啓蒙活動の実施。 (2)食育活動における一汁三菜やレシピ提案を実施する際は、食事バランスガイドや食物アレルギー原因物質の提示を行い、それについての説明を実施。 (3)使用する食材は極力、その時の旬の生鮮食材、県産食材(ない場合は近県産または国産)を使用。 (4)調味料は合成添加物・合成着色料無添加のものなどをなるべく使用する。</p> <p>3. 食に関する知育活動 (1)あおもり食育サポーター様から食育グッズをお借りし、それを使用した知育活動の実施。 (2)店舗独自で手作りの知育グッズによる知育活動の実施(例、野菜350gってどれくらい?、豆搥みゲーム、食育塗り絵、など)。 (3)メーカー様ご協力の元、店舗での食育教室実施。 (例、マヨネーズ教室、きのこについて、トマトの栄養について、など) (4)店舗における5ADay教室の実施。 地域の小学生(2～3年生)を店舗に招き、5ADay協会の講師指導の元5ADay教室を実施。 (5)校外学習でのお仕事見学ツアー実施。 地域の小学校の校外学習の一環で、職場見学・パン作り体験の実施。</p> <p>4. 社外機関との連携。 (1)食育の日の食生活改善推進員様とのコラボレーション(11月～) (2)東北女子短期大学様とのコラボレーション (3)八戸学院短期大学様とのコラボレーション</p> <p>5. 地産地消の取組</p>

	<p>(1) 青森県産品愛用応援キャンペーンとのコラボレーション(9月) 全店で「地産地消」をテーマに、食育活動に絡めて県産食材・県産商品の推奨販売を実施。</p> <p>(2) カブセンター大野店に三村知事をお迎えし、県産品のPR活動を実施(9月)</p> <p>6. 県の事業との連携</p> <p>(1) 「野菜で健康大作戦」 野菜を食べようキャンペーンの活動。 毎回の食育活動時に野菜摂取向上の呼びかけを行う。</p> <p>(2) 「だし活」事業 毎回の食育活動時に、だし活の広報を行う。 県と食生活改善推進員様たちのお取組を店舗で実施(弘前店、黒石店、大野店、観光通店、長苗代店)</p> <p>(3) 「食命人」事業 協力店舗として広報に努める。</p>
取組の具体的な手法や特徴的なこと	<p>1. 展開方法においては昨年と同様。</p> <p>2. 今期は年間を通して「減塩(適塩)」を提案し続けた。 (1) 青森県の平均寿命が最下位だということをお知らせし、その対策として減塩(適塩)についてのPOPやコミュニケーションを実施。 (2) メニュー提案による具体的な減塩方法の提案 カリウムを多く含む野菜を摂取することで減塩につながるということを提案し、野菜摂取を啓蒙。 だしを上手に活用することで塩分を控えてもしっかりとした味付けができることを、体験を通じて啓蒙。</p> <p>(3) 減塩アンケートの実施 10月の食育活動時に減塩アンケートを実施。 ① 平均寿命最下位の認識 ② 減塩に対する意識調査 ③ 当店の減塩提案の認識についての調査 ④ 減塩メニューについての感想</p>
今後取り組みたい事項	<p>1. 社外団体との連携強化 (詳しくは昨年と同様)</p> <p>2. 減塩(適塩)提案に加え、和食についての啓蒙</p> <p>3. あおもり食命人事業に加え、県の各取組との連携強化</p>
備考	<p>1. 各種表彰について</p> <p>(1) 日本食育コミュニケーター活動発表全国大会において、「食育コミュニケーション大賞」、「地域密着大賞」を2年連続で受賞(11月)</p> <p>(2) フード・アクション・ニッポンアワード2014において、「流通部門 入賞」を受賞(11月)</p> <p>2. 今後の活動</p> <p>今期は減塩の取組をさらに深め、県の取組と歩調を合わせ「野菜摂取向上」「だし活」の考えを取り込んでの減塩活動を展開した。 さらに、食生活改善推進員の方々との共同提案が次第に軌道にのり、青森地区のみならず、八戸地区での活動も展開中。 しかし、アンケートの結果を見ると男性や20代、30代(女性を含む)への働きかけが弱いことに気づく。 そのきっかけとして、地元の大学へ協力を要請。一部の先生・学生による食育講座を店舗にて開催。 今後は活動を発展させ、学生プロデュースの惣菜等の開発を行い、相互の取組の</p>

発展を期待する。

現状、子育て一段落世代やシルバー世代への提案が多くなってきているので、子育て世代や、一人暮らし世代(大学生など)といった様々なライフステージ、男性への理解が深まるような取組を強化していきたい。

33 一般社団法人 青森県歯科医師会

事業内容	健康あおり21 8020 健康社会フォーラム(県民公開講座)
期 日	平成26年11月8日(土)【いい歯の日】
場 所	五所川原市「ELM 2F ELMホール」
活動内容・参加者等	嚥下障害、口腔機能向上についての講演 介護食のサンプル配布(クリニック)
取組の具体的な手法や特徴的なこと	嚥下障害の講演と連動した介護食のサンプルを配布した
備 考	

34 公益社団法人 青森県看護協会

活 動 内 容	
地域において一般県民を対象に生活習慣病予防と食育の推進に係る活動を実施。	
1 看護の日・看護週間事業「1日まちの保健室」における活動 5月12日を含む1週間に、6カ所の支部及び会員所属の病院が健康づくりを盛り込んだイベントを開催している。	
2 県内3カ所「まちの保健室」での定期的健康相談活動 青森市浅虫:道の駅「ゆ～さ浅虫」(35日間、PRイベント5月3日) 鱒ヶ沢町:海の駅「わんど」30日間(29日間、PRイベント4月27日) 八戸市:「はっち」(49日間、PRイベント8月21日)	
3 県内6支部の管内市町村における「健康まつり」等をとおしての健康づくり活動	
取組の具体的な手法や特徴的なこと	看護協会会員が県内各地で、県民の健康づくりのための健康相談活動を展開している。

35 公益社団法人 青森県栄養士会

事業名 ①	「無料栄養相談」あおり栄養ケア・ステーション 1
期 日	平成26年度
活動内容・参加者等	県民を対象に、無料で栄養相談や食育相談を実施。 電話 毎週火曜日10時～15時、HP 随時
事業名 ②	「家庭料理学校」あおり栄養ケア・ステーション 2
期 日	平成26年9月20日、11月1日
場 所	長島小学校、浦町小学校
活動内容・参加者等	青森市中央卸売市場からの依頼で、県産の食材を使った調理実習。
事業名 ③	健康啓発等事業 1 (健康教育講座)
期 日	平成26年11月15、16日
場 所	鶴田町 鶴遊館
活動内容・	健康あおり21の目標を踏まえ、特に減塩のすすめを中心に、展示、クイズなどを実

参加者等	施。食育・食事バランス・1日の食事のエネルギーや果物のエネルギーを表示、簡単なクイズなどで食に関する興味や知識を持ってもらう。栄養食事相談。 参加者270名
事業名 ④	健康啓発等事業 2 (八戸市環境・健康フェスタ2014)
期 日	平成26年9月28日
場 所	八戸市公会堂
活動内容・参加者等	「見直そう！塩分」というテーマで、塩分フードモデルの展示やリーフレットの配布をし、減塩の大切さ、減塩食の工夫、野菜摂取、適正体重についての栄養相談を行った。 参加者250名
事業名 ⑤	健康啓発等事業 3 (食と健康展)
期 日	平成26年11月1、2日
場 所	むつ市役所多目的ホール
活動内容・参加者等	むつ市で行われる消費生活展に協力。「健康あおもり21の」普及啓発のため、減塩をメインテーマに食事指導。 減塩フードモデル展示、食事のバランスについて啓発、アンケートの実施など。 参加者150名
事業名 ⑥	健康啓発等事業 4 (十和田南公民館まつり)
期 日	平成26年10月26日
場 所	十和田市南公民館
活動内容・参加者等	「減塩食について」 ・栄養相談、パネル展示、「健康あおもり21」アンケート、「減塩エーヨー！！」アンケートの実施 ・市民への減塩食の知識の普及を行い、高血圧予防と重症化予防に努める。 参加者260名
事業名 ⑦	健康啓発等事業 5 (市民健康まつり)
期 日	平成26年11月22、23日
場 所	スポカルイン黒石
活動内容・参加者等	健康あおもり21の推進 減塩のぼり、減塩タペストリーの掲示、栄養クイズ、アンケート 参加者300人
事業名 ⑧	弘前市民の健康まつり
期 日	平成26年7月12、13日
場 所	弘前総合保健センター
活動内容・参加者等	健康あおもり21の推進 減塩のぼり、減塩タペストリーの掲示、栄養クイズ、アンケート、 参加者400名
事業名 ⑨	健康啓発等事業 6 (油川市民センターまつり)
期 日	平成26年10月11、12日
場 所	油川市民センター
活動内容・参加者等	栄養相談、体脂肪測定、パネル展示、減塩のぼり、塩分フードモデル展示など 参加者108名
事業名 ⑩	健康啓発等事業 7 (2014たばこと健康フェア)
期 日	平成26年9月13日
場 所	サンロード青森
活動内容・参加者等	栄養相談、体脂肪測定、パネル展示、減塩のぼり、塩分フードモデル展示など 参加者22名
事業名 ⑪	「アスリートプログラム」 あおもり栄養ケア・ステーション3

期 日	平成26年度
場 所	マエダアリーナ(青森市)
活動内容・参加者等	スポーツ選手を対象に食事栄養診断と栄養相談
事業名 ⑫	「みんなの食育アカデミー」 あおもり栄養ケア・ステーション4
期 日	平成26年7月6日～27年3月31日
場 所	県内40カ所
活動内容・参加者等	健康寿命アップのための健康を目指した食事やバランス食等の講演、ビデオなど
事業名 ⑬	「運動が苦手な子供と保護者に対するの食育」 あおもり栄養ケア・ステーション5
期 日	平成26年度10月25日
場 所	種差少年の家
活動内容・参加者等	運動が苦手な子ども(肥満児)と保護者に対するの食育、健康的な昼食を食べながら、栄養相談。
事業名 ⑭	「離乳食のお話」 あおもり栄養ケア・ステーション 6
期 日	平成26年7月2日
場 所	八戸市白山台公民館
活動内容・参加者等	三戸郡の零歳児担当の保育士20名に対して離乳食の話
事業名 ⑮	スポーツ栄養教室「勝つための勝負メシ」 あおもり栄養ケア・ステーション7
期 日	平成27年度1月25日
場 所	五戸町立公民館
活動内容・参加者等	対象 五戸町スポーツクラブ会員、保護者、指導者

36 社会福祉法人 青森県社会福祉協議会

活 動 内 容	
<p>1 福祉専門職に対する研修会等において、快適な食生活の方法、栄養管理等についての情報提供を行うとともに、食育の啓発を実施している。</p> <p>2 住民向けの介護講座等にて、家庭介護の充実を図る一方で、食事の楽しさ・大切さを伝えることで食育の啓発を図っている。</p>	
取組の具体的な手法や特徴的なこと	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉専門職向けの研修事業に食育の視点を加える。 ・家庭の介護力の向上の一助として、自助具等の普及を図るとともに嚥下に関する研修等を実施し、食事の楽しさ・大切さを伝える。
今後取り組みたい事項	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村の食生活改善推進員の中には、ほのぼのの交流協力員を兼務している方もおられることから、保健指導等との連携のもと、きめ細やかな配食サービス等を普及させる必要がある。

37 一般社団法人 青森県保育連合会

事業名 ①	給食部会の開催
期 日	平成26年度:4回開催
場 所	青森市 県民福祉プラザ
活動内容・参加者等	<p>部会員 15名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各支部から選出された部会員で「給食部会」を設置。日常の給食業務等の課題について

	て話し合う ・保育所発！子ども元気スリムプラン事業の中でレシピ集を作成し、配布した
事業名 ②	青森県保育研究大会の開催
期 日	平成26年7月15日
場 所	青森市 ホテル青森
活動内容・参加者等	参加者:297名 研究テーマ 「家庭や地域との連携による食育の推進」で、研究発表を行う
事業名 ③	給食研修会の実施
期 日	平成26年11月4日
場 所	青森市 ホテル青森
活動内容・参加者等	参加者:302名 講演 「摂取・嚥下機能の発達と食事」 講師 昭和大学歯学部 スペシャルニーズ 口腔医学講座 口腔衛生学専門 教授 弘中 祥司 氏 講演 「だしを活用した料理と作る人の使命」 講師 日本料理 つきち田村 田村 隆 氏
取組の具体的な手法や特徴的なこと	保育所発！子ども元気スリムプラン事業において、身長・体重入力成長曲線作成ツールを活用し肥満防止の取組や食育の改善等の指導に繋げている。
備 考	来年度以降も継続して活動を実施し、関係機関との協力の下に子どもたち、保護者への「食育」の推進を図り肥満防止保育に取り組む。

38 国立大学法人 弘前大学 農学生命科学部

事業名 ①	学部所属教員による21世紀教育科目「食育概論」の開講
期 日	平成26年10月1日～平成27年1月28日(15回開催)
場 所	弘前大学総合教育棟401講義室
活動内容・参加者等	第1回 履修学生の抽選 第2回 講義のガイダンス 第3回 食生活の概念 第4回 日本型食生活の特徴と変遷 第5回 食育推進に関する施策の現状と課題 第6回 家庭における食育の推進 第7回 教育機関における食育の推進 第8回 地域・企業における食育の推進 第9回 食品の安全・安心に関する情報と施策 第10回 大学生が健全な食生活を送るポイント 第11回 青森県の野菜 第12回 青森県の米 第13回 青森県の畜産物 第14回 青森県の果樹 第15回 食文化の継承と課題／青森県における食と農の現状と課題 ※ 履修者は271名
事業名 ②	弘前大学食育シンポジウム「見直そう！青森の食生活と農産物－農場から食卓までの実践的総合教育をめざして－」
期 日	平成27年1月25日
場 所	弘前大学創立50周年記念会館みちのくホール

活動内容・参加者等	<p>1 講演</p> <p>①愛媛大学「食」教育の取組—つくる、伝える、知る—垣原登志子(愛媛大学)</p> <p>②考えて見よう!「食育の環」 吉池信男(青森県立保健大学)</p> <p>2 パネルディスカッション—これからの食育活動の役割—</p> <p>①パネリスト</p> <p>垣原登志子(愛媛大学)、吉池信男(青森県立保健大学)、森山洋美(青森中央短大)</p> <p>石塚哉史(弘前大学)、伊藤大雄(弘前大学)</p> <p>※ 来場者は130名</p>
取組の具体的な手法や特徴的なこと(他団体との連携など)	<p>事業名①は、弘前大学生協、大学生協東北事業連合、地域の生産者と連携して実施。</p> <p>事業名②は、弘前大学、弘前市の協力を得て開催。</p>
備考	<p>事業名①の目的は、本講義は、食育基本法等関連施策と共に家庭や地域、教育機関等に各主体による取り組みの内容について現状と課題について理解を深めるとともに、わが国の食生活、食文化の特徴や課題についても学ぶことにより、食育を実践する上で必要なスキルを身につけることを目的としています。さらに、本学が立地している青森県における食と農の特色を穀物、青果物、畜産物と各部門毎の特産物を中心に学ぶことにより、地域での食と農の在り方について説明できるような知識を身につけることに、おかれている。</p> <p>事業名②の目的は、青森県の食生活を改めて見つめ直すとともに、「農場から食卓までの実践的総合教育」という食育の原点に立ち返り、大学や地域における今後の食育活動のあり方を議論することである。</p>

39 学校法人 青森田中学園 青森中央短期大学

1 公開講座での食育実践実施

事業名①	心つなぐおばあちゃんの郷土料理 Vol.2
期日	平成26年10月4日
場所	本学 調理実習室
活動内容・参加者等	一般の方を対象に昔から伝えられてきた青森県の郷土料理の調理実習を実施した。
事業名②	クリスマス親子クッキング
期日	平成26年12月6日
場所	本学 調理実習室
活動内容・参加者等	園児・児童とその保護者を対象に、クリスマスをテーマとした親子で楽しめる内容の調理実習を実施した。
取組の具体的な手法や特徴的なこと	学科の特性を活かし、参加者が楽しみながら調理体験を行い、知識や技術の習得とともに講座を通して食への興味・関心をもつきっかけになるような内容としている。
備考	どちらの講座も大変好評であった。来年度以降も継続して活動を実施していきたい。

2 教員が出勤講座など依頼された研修会で食育の普及活動を実施

事業名①	スポーツと食事
期日	①平成26年6月27日 ②平成26年12月19日
場所	①青森県立三戸高等学校 ②青森県立十和田工業高等学校
活動内容・	スポーツをするうえで特に気をつけなければいけない栄養素や食べるタイム

参加者等	ング、水分補給、スポーツ貧血を中心に講話を行った。
事業名 ②	青森県民のための食育
期 日	①平成26年7月22日 ②平成26年8月7日 ③平成26年10月15日 ④平成26年11月29日
場 所	①グランドサンピア八戸 ②むつ来さまい館 ③弘前市立時敏小学校 ④むつ市中央公民館
活動内容・参加者等	青森県の平均寿命と食生活の関係や青森県民の健康増進のためにはどうしたらよいかなどの講話を行った。
事業名 ③	カラダは食べ物でできている
期 日	①平成26年10月19日 ②平成27年1月27日
場 所	①青森県立梵珠少年自然の家 ②青森県立青森第二高等養護学校
活動内容・参加者等	小学生の保護者や寄宿舎で生活する学生に対して五大栄養素を中心に望ましい食生活を送るための工夫について講話を行った。
事業名 ④	「食の安全・安心」～食の安全は食卓から～
期 日	平成26年10月22日
場 所	青森市中央市民センター
活動内容・参加者等	寿大学の学生を対象に家庭でできる食中毒予防のポイントなどについて講話を行った。
事業名 ⑤	親子で料理にチャレンジしよう
期 日	平成26年11月1日
場 所	県民福祉プラザ
活動内容・参加者等	青森県里親連合会会員の交流会として、親子を対象に家庭で簡単に作れるおやつ調理実習を行った。
事業名 ⑥	体内時計と健康
期 日	平成26年11月7日
場 所	五所川原市立五所川原小学校
活動内容・参加者等	どうして規則正しい生活が健康によいのか、どのタイミングでどの位食べたら良いのかについて小学生の保護者対象に講話を行った。
事業名 ⑦	下北子どもヘルスアップ事業「生活改善教室」
期 日	①平成26年6月15日 ②平成26年6月15日 ③平成26年6月21日 ④平成26年6月28日 ⑤平成26年7月 1日 ⑥平成26年7月 4日 ⑦平成26年7月 4日 ⑧平成26年11月29日 ⑨平成26年12月4日 ⑩平成26年12月6日 ⑪平成26年12月10日
場 所	むつ市立菅生小学校 むつ市立大畑中学校 むつ市立第三田名部小学校 むつ市立第一田名部小学校 風間浦村立蛇浦小学校 むつ市立田名部中学校 むつ市立正津川小学校 風間浦村立易国間小学校 むつ市立奥内小学校 むつ市立大湊中学校 むつ市立大湊小学校
活動内容・参加者等	児童・生徒及びその保護者に対して望ましい食習慣や食生活について講話を行った。
取組の具体的な手法や特徴的なこと	学科の専門性を活かしながら、参加者が興味を引くテーマを設定し「食」について学ぶことが出来る内容としている。
備 考	食に関する講座への要望は多く、来年度以降も継続して活動を実施していきたい。

3 平成26年度 あおもり食育サポーター促進事業（県委託業務）

事業名 ①	あおもり食育サポーター事務局による食育活動
申込先別 依頼件数	幼稚園・保育園・子育て支援センター 137件 小学校・中学校・高校 34件 一般・その他 22件 合計 193件（平成27年1月25日現在）
活動内容	あおもり食育コンシェルジュ等が、幼児から高齢者まで幅広い世代を対象に青森県全域で食育活動を行った
事業名 ②	平成26年度第1回あおもり食育サポーター地区別研修会
期 日	①平成26年7月18日 ②平成26年7月25日 ③平成26年8月7日 ④平成26年8月8日 ⑤平成26年8月28日 ⑥平成26年8月29日
場 所	①下北文化会館 ②平賀公民館 ③八戸市総合福祉会館 ④宝湖館 ⑤五所川原市市民学習情報センター ⑥アピオあおもり
活動内容・ 参加者等	あおもり食育サポーターを対象に東北農政局より情報提供と食育コンシェルジュによる食育教材を活用した活動を展開するための講話と演習を行った。
事業名 ③	平成26年度第2回あおもり食育サポーター地区別研修会
期 日	①平成27年2月12日 ②平成27年2月18日 ③平成27年2月24日
場 所	①八戸市総合福祉会館 ②鶴田町公民館 ③県民福祉プラザ
活動内容・ 参加者等	だしソムリエを講師に迎え、料理のベースとなる「だし」の基本や使い方について学ぶ。

4 その他

事業名 ①	翔麗祭
期 日	平成26年9月14～15日
場 所	青森中央短期大学 1号館1階
活動内容・ 参加者等	本学学園祭において食育教材の展示や食育クイズなどを実施した。
事業名 ②	産学官共同による「学生による地産地消弁当の考案」
期 日	平成26年5月～9月
場 所	青森県内
活動内容・ 参加者等	本学学生が青森県産品を使用した地産地消弁当を考案し、その販売を企業がに行った。
事業名 ③	あおもりde Mori-Mori Kitchen
期 日	平成26年8月、10月
場 所	青森県全域(テレビ放送)
活動内容・ 参加者等	本学学生による青森県産米を使ったレシピ考案とテレビ放送でレシピの紹介を行った。（青森県米本部と青森放送と共同企画）
事業名 ④	野菜を食べよう推進大会
期 日	平成26年8月31日
場 所	青森県立保健大学
活動内容・ 参加者等	青森中央短期大学の食育活動の取組や栄養クイズ、親子クッキング等のレシピの配布を行った。
事業名 ⑤	外国人向け料理講習会
期 日	①平成27年1月24日 ②平成27年1月31日
場 所	①平川市 ②南部町
活動内容・ 参加者等	グリーンツーリズム受入農家を対象に青森県産品を使用した外国人に喜ばれる料理講習会を行った。

40 あおもり食育検定委員会(事務局:青森中央短期大学)

事業名 ①	平成26年度あおもり食育検定
期 日	平成26年6月15日(日)
場 所	青森中央短期大学(青森市)、青森県営農大学校(七戸町)、 弘前学院大学(弘前市)、東北女子短期大学(弘前市)
活動内容・ 参加者等	検定:青森県の農林水産物と食文化等の知識を有する者の認定。 会場:県内3会場及び1団体会場で実施した。 状況:受検者数は254名で、内227名が合格した。合格率は89.4%であった。合格者 には「あおもり食育サポーター」への登録を奨励し、登録者数が増加した。
備 考	平成27年度も実施予定

41 株式会社 東奥日報社

活 動 内 容	
事業として特に食育に取り組んではないが、長期連載や企画などによる「短命県返上」の紙上キャンペーンを展開しており、健康と食育の問題も随時、記事で取り上げている。	

42 農林水産省東北農政局青森地域センター

活 動 内 容	
平成26年度は、食育推進計画の未策定市町村に対する支援等を継続するとともに、食育推進計画の1次計画が終了した市町村に対する2次計画策定の働きかけを実施。 また、関係機関、団体等が開催する食育関連イベント等に積極的に参加し、消費者等に対して情報発信。特に、「食事バランスガイド」、「フード・アクション・ニッポン」を中心に普及・啓発及び情報提供。 ※フード・アクション・ニッポン 日本の食を次の世代に残し、創るために民間企業・団体・行政等が一体となって推進する、国産農産物等の消費拡大の取組	
事業名 ①	食育推進計画未策定市町村に対する支援、2次計画策定に対する支援
期 日	平成26年度
対 象	食育推進計画未策定市町村、1次計画終了の市町村
活動内容・ 参加者等	食育推進計画未策定市町村を対象に進捗状況の把握、計画策定に関する支援等を実施。1次計画の実施期間が終了した市町村に対する2次計画策定の働きかけを実施。
事業名 ②	食育月間における取り組み(食事バランスガイドの普及・啓発)
期 日	平成26年6月中
場 所	—
活動内容・ 参加者等	青森県・管内地域県民局(4)・管内市町村(24)、管内大学(10)、関係団体(4)、価格調査協力店(6)、25年東北食育コンクール局長賞受賞校(1、東目屋中学校)に対して、「食育月間ポスター」、「食育ガイド」等を配付。
期 日	平成26年6月13日(金)
場 所	青森市 沖館市民センター
活動内容・ 参加者等	当センターの職員が講師として参加した沖館寿大学・大学院の講座開始前に受講者へ「食育月間」、「食事バランスガイド」等に関するパネルを展示するとともに、受講者へパンフレット等を配付して普及・啓発。(39人)
期 日	平成26年6月19日(木)
場 所	イトーヨーカ堂 青森店
活動内容・ 参加者等	食育月間の食育の日に、イトーヨーカ堂青森店において、「食育月間」、「食事バランスガイド」等に関するパネルを展示するとともに、来店者へ「食育ガイ

	ド」等のパンフレットも併せて配付し普及・啓発。(約90人)
期 日	平成26年6月14日(土)～20日(金)
場 所	青森中央学院大学・短大
活 動 内 容・ 参 加 者 等	大学生等の若い世代に食育の関心を深めてもらう目的で、青森中央学院大学・短大構内において「消費者コーナー」を1週間設置し、「食育月間」、「食事バランスガイド」等に関するパネルを展示するとともに、「食育ガイド」等のパンフレットを配置。
事 業 名 ③	食育関連イベント等への参加
期 日	平成26年8月31日(日)
場 所	青森県立保健大学
活 動 内 容・ 参 加 者 等	「野菜を食べよう推進大会」への参加。 「食事バランスガイド」等に関するパネルを展示するとともに、来場者へパンフレット等を配付し普及・啓発。(約100人)
期 日	平成26年9月3日(水)～4日(木)
場 所	青森県産業技術センター農林総合研究所
活 動 内 容・ 参 加 者 等	「農林総合研究所・りんご研究所参観デー」への参加。 「食事バランスガイド」の関連パネルを展示するとともに、来場者へ「食育ガイド」等のパンフレットも併せて配付し普及・啓発。(約150人)
期 日	平成26年11月11日(火)
場 所	県民福祉プラザ
活 動 内 容・ 参 加 者 等	「第50回青森県消費者大会」への参加。 「食事バランスガイド」、「フード・アクション・ニッポン」に関するパネルを展示するとともに、来場者へパンフレット等を配付して普及・啓発。(約100人)
事 業 名 ④	「移動消費者の部屋」開設
期 日	平成26年10月17日(金)
場 所	青森市 油川市民センター
活 動 内 容・ 参 加 者 等	当センターの職員が講師として参加した油川寿大学院の講座開始前に受講者へ「食事バランスガイド」、「フード・アクション・ニッポン」に関するパネルを展示するとともに、受講者へパンフレット等を配付し普及・啓発。(12人)
事 業 名 ⑤	「あおもり食育サポーター地区別研修会」における情報提供
期 日	平成26年8月7日(木)
場 所	八戸市 八戸総合福祉会館
活 動 内 容・ 参 加 者 等	「東北地域における食育の進捗状況について」、「平成25年度東北地域食育活動コンクール受賞事例の概要」について情報提供を行い、食育サポーターと意見交換を実施。(11人)
期 日	平成26年8月28日(木)
場 所	五所川原市 五所川原市民学習情報センター
活 動 内 容・ 参 加 者 等	「東北地域における食育の進捗状況について」、「平成25年度東北地域食育活動コンクール受賞事例の概要」について情報提供を行い、食育サポーターと意見交換を実施。(6人)
期 日	平成26年8月29日(金)
場 所	青森市 アピオあおもり
活 動 内 容・ 参 加 者 等	「東北地域における食育の進捗状況について」、「平成25年度東北地域食育活動コンクール受賞事例の概要」について情報提供を行い、食育サポーターと意見交換を実施。(12人)

43 農林水産省東北農政局八戸地域センター

事業名 ①	平成26年度第1回あおもり食育サポーター地区別研修会への参加
期 日	平成26年8月7日
場 所	八戸市総合福祉会館「はちふくプラザ根城」
活動内容・参加者等	あおもり食育サポーター地区別研修会に講師として参加し、「東北地域の食育を巡る現状」について情報提供と意見交換を実施。
期 日	平成26年8月8日
場 所	小川原湖交流センター「宝湖館」
活動内容・参加者等	あおもり食育サポーター地区別研修会に講師として参加し、「東北地域の食育を巡る現状」について情報提供と意見交換を実施。
事業名 ②	食育月間における取組（「食事バランスガイド」等の普及・啓発）
期 日	平成26年6月28日
場 所	カブ・シンフォニープラザ店(八戸市)
活動内容・参加者等	食事バランスガイドを中心とした食育関連パネルの展示、パンフレット配布、豆つかみゲーム、箱の中身当てクイズ等を通して、一般消費者や子供たちへ食育を推進。
期 日	平成26年6月1日～30日
活動内容・参加者等	管内消費者団体等に対し、「平成26年度「食育月間」実施要領(内閣府)」と食育月間ポスターを配付
事業名 ③	食育関連イベント等への参加
期 日	平成26年9月28日
場 所	八戸市公会堂・公会堂文化ホール
活動内容・参加者等	八戸市国民年金課・環境政策課主催の「八戸市環境・健康フェスタ2014」において、参加者に対し、食事バランスガイドを中心とした食育関連パネルの展示、パンフレット配布、豆つかみゲーム、野菜の花当てクイズ等を通して、一般消費者や子供たちに対し食育を推進。
取組の具体的な手法や特徴的なこと	食育関連イベント等への参加の際は、パネルの展示やパンフレットの配布のほか、ゲームやクイズを行うことにより、より多くの消費者や子供たちに参加していただくよう工夫している。

44 青森県農業会議

活 動 内 容
1 市町村農業委員会への情報提供活動の実施。
2 全国農業会議所等との連携。